

シジュウカラガン大型亜種

(亜種オオカナダガンなど)
もともと日本に生息しないが、
飼育鳥が野生化して分布を広げつつある。

「外来亜種」

長いくちばし

亜種シジュウカラガン

古来より冬になると定期的に日本へ渡来していたが、
絶滅の危機に瀕している。

「在来亜種・絶滅危惧種」

小さく短いくちばし

頭頂部が平らで、
長い首、
四角い頭

白い首輪(成鳥)

灰褐色の胸

淡色の胸

似ているけれど

違います。

ガンカモ類の生息調査にご参加の皆様
シジュウカラガンの識別・記録についてご協力お願いします。

*シジュウカラガンという名称は、種全体を表す種和名(*B. canadensis*)と在来の1亜種を表す亜種和名(*B. c. leucopareia*)の両方に用いられています。ここでは種和名の場合は、「シジュウカラガン」、亜種和名の場合は、「亜種シジュウカラガン」と表記します。

在来亜種と外来亜種は、別々に記録して下さい。

シジュウカラガンの在来亜種と外来亜種について



▲図1: シジュウカラガン(*Branta canadensis*)の亜種別繁殖地の分布

シジュウカラガン(*Branta canadensis*)は、大きさ、体色などが異なる8つのグループ(亜種)に分かれています(文献1,図1)。このうち日本に渡来する在来亜種は、主に亜種シジュウカラガン(*B. c. leucopareia*)で稀に亜種ヒメシジュウカラガン(*B. c. minima*)も観察されます。一方でこれらに在来亜種よりも明らかに大きい亜種オオカナダガン(*B. c. minima*)などの外来亜種が人為的に持ち込まれ定着しており、環境省では要注意外来生物に指定して「シジュウカラガン大型亜種」と呼んでいます(文献2)。

亜種オオカナダガンは、ニュージーランド、ヨーロッパでも移入されて増加し、大きな問題となっています。

野外識別のポイント (詳細は文献・4参照)



在来亜種と外来亜種は、別々に記録して下さい。

環境省発行の調査票をお持ちの方は、紙様式5では「在来亜種/外来亜種」を別々に記録し、紙様式3では「亜種の合計」を、記録して下さい。

関連文献・資料

文献・1) Palmer (1976) Handbook of North American Birds.
文献・2) 要注意外来生物リスト: シジュウカラガン大型亜種 http://www.env.go.jp/nature/intro/1outline/caution/list_ho.html
文献・3) 亜種シジュウカラガンのROBでの記録 http://www.bodc.go.jp/rdb/rdb_1.html
文献・4) カナダガンの野外での亜種識別のために <http://www.jawp.org/manual/bcaid/jhtml>

■企画・編集: 日本雁を保護する会 ■発行: 環境省生物多様性センター ■D&A: 葛田昌子 ■写真提供: 奥地正行・山田保良